

バイオものづくり革命推進事業

細胞性和牛肉の社会実装に係る研究開発

事業の目的・概要

持続可能な社会を実現するための 和牛肉の細胞性食品開発と社会実装に向けた研究開発

【研究開発項目①-b/補助】：該当なし

【研究開発項目②-a/補助】：該当なし

【研究開発項目③ /補助】：和牛細胞株樹立と大量培養技術の開発

【研究開発項目④ /補助】：可食材料及び味・食感を再現する加工技術の開発

【研究開発項目⑤ /委託】：社会受容のための活動及びLCA評価手法の開発

事業期間

2023年度～2027年度(5年間)

※太字：幹事企業

実施体制

ZACROS株式会社 (③, ⑤)

株式会社島津製作所 (④)

TOPPANホールディングス株式会社 (④, ⑤)

事業規模など

□ 事業規模： 約14億円

□ 支援規模*：約10億円

* 補助率 … ①-b : 1/2, ② : 1/2, ③ : 2/3～1/3, ④ : 1/3

事業イメージ

【事業目的】

将来予測される食糧のタンパク質不足を国内調達で解消すること及び環境問題を解決した和牛肉を、安定した供給のために、細胞性食品の事業化を目指す

【事業概要】

和牛細胞を用いた、細胞性和業肉の大量製造技術開発及び社会実装に向けた社会受容促進とルールの制定を推進

研究開発項目④

- 可食成分を用いた培地開発
- 低コスト化

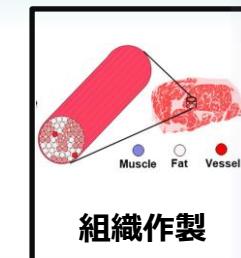


研究開発項目③

- 和牛の幹細胞株の樹立・ブランディング
- 培養方法や条件開発
- 品質管理手法の開発

研究開発項目④

- 喫食可能なバイオインクの開発
- 和牛肉の味や食感を再現した組織化技術開発



研究開発項目⑤

- 細胞性食品の認知度を調査
- LCAの評価手法の確立
- 安全性の評価、表示ルール制定